

ちいき新聞

2018年5月18日号
柏中央版
発行部数37,970部
VOL.663 全57版
総発行部数2,138,749部

今週の見どころ

- ☆情報満載♪イベント情報
- ☆知っておきたい「はしか」
- ☆お楽しみ♪読者プレゼント
- ☆NEWグルメスポット

地元の求人がいっぱい

Happiness 隔週折込

中の折込を今すぐチェック

一部の地域は折込されておりません。
(株)地域新聞社 ちいきふる事業部 ☎04-7162-3456

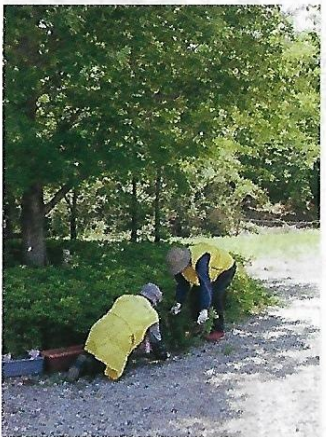
ちいき新聞に関するご意見・ご要望は ☎0120-152-337 広告掲載・チラシ折込等については ☎047-458-6802 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み ✉kashiwa-chuou@chiikinews.co.jp

昔と今 こんぶくろ池の魅力

こんぶくろ池自然博物館公園内にあるこんぶくろ池は、古文書の記録では江戸時代からあったとされ、手賀沼の三大源泉池の内、唯一現存する湧水池で、地金堀や大堀川を経てフキ口ほど離れた手賀沼に流れているという。池周辺の森には、湧水によって気温が低いことから、冷温帯の植物「スミヤ」や「マガヤ」、湿地林に生息する珍しい昆虫類の繁殖も確認されており、都市化が進む地域でありながら、豊かな自然環境が多く残る。しかし、かつてはごみの不法投棄の場所になっていたという。今ある美しい自然は、NPO法人こんぶくろ池自然の森のスタッフにより整備され守られてきたのだ。

5年ぶりの表彰に 喜びの声

そんなこんぶくろ池が今年2月、柏市都市景観賞を受賞した。豊かな自然が「人々にうるおい、やすらぎを



園内の清掃を行うスタッフの皆さん

与える、居心地の良い水辺の景観」であることから選ばれ、公園内の自然の保全に努めてきたこんぶくろ池自然の森の理事岡本さんは「5年ぶりの表彰に、とてもうれしく思っています」と喜びを話す。

「受賞したことで爆発的に訪れる人が増えたというわけではありませんが、徐々に増えていきます。団体でいらつしやる方も増



都市景観賞受賞から3カ月 こんぶくろ池の今

「うるおい」「やすらぎ」「居心地の良さ」を感じる水辺の景観として、今年の2月22日に「柏市都市景観賞(水辺の景観部門)」を受賞したこんぶくろ池。受賞後の変化と今後について、こんぶくろ池自然の森の理事岡本さんに話を聞いた。



受賞の盾と賞状を持つ岡本さん

えましたね。また、サポートするボランティアスタッフも新たに4人増え、受賞をきっかけにこの場所を知る人は増えたんじゃないでしょうか」と岡本さん。同団体は2010年に発足。「市民で育てる100年の森」をキヤッチコピーに保全・再生・創出を基本にこの場所で活動している。「ここにしかない希少種を守り、これからもこの自然を守っていきたい。こんぶくろ池の自然は、生き物たちの循環の森になっている。メンバーの半数が70歳以上と高齢化が進んでおり、限られた人数で活動しているが、アイデアはたくさんあります。今はこの

公園の特徴などを紹介するハンドブックを作成中です。6月から夏に向けて、「ノジトランオ」や「コバキボウシ」「キッネノカミノリ」など、魅力的な花が咲き始めるので、都市型公園にはない貴重な自然を味わってほしいです」と語る。この受賞をきっかけに100年の森のバトンがつながり、活動は続いていく。(びーな)

住所/柏市中十余二366の1
※問い合わせ
☎0471338800
NPO法人こんぶくろ池自然の森 岡本